



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 289

2021/04/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

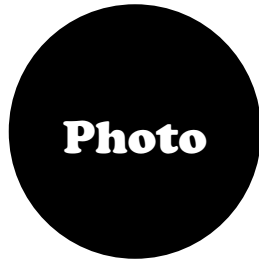
GREEN COLUMN

01. ひと足早い春を探しに

02. 特別展！見所紹介！



今月の一枚



「待ち焦がれる香り」

表紙写真・文／城坂結実

春。桜前線の話で、テレビや新聞が盛り上がる季節です。かくいう私も桜を楽しみしている一人ですが、もう一つ、開花を楽しみにしている花があります。キタコブシです。人間の拳くらいの大きな白い花を咲かせる樹木で、美幌町では、エゾヤマザクラと同じ頃に開花します。

キタコブシの花は、何とも華やかなよい香りがします。地面に落ちた花びらを拾っては、その香りを吸い込むのが、春の束の間の楽しみです。

Event. 今月のイベント

特別展「びほろのアケボノ～旧石器時代の遺跡～」 ～ 10月24日（日）

プチ工房「和紙の兜折り紙」 4月16日（金）、17日（土）

博物館講座（歴史編）「戦中の美幌の歴史発掘」 4月24日（土）

Information. 参加者募集

プチ工房「和紙の兜折り紙」

● 4/16（金）、17（土）① 10:00 開始、② 14:00 開始。所要時間 60 分～、作品ができたらず終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 300 円、マスク ●八重柏誠（美幌博物館）●美幌博物館へ電話申込み（4/1-15）。小学 3 年生以下は保護者の同伴が必要、各回定員 12 名で締切。

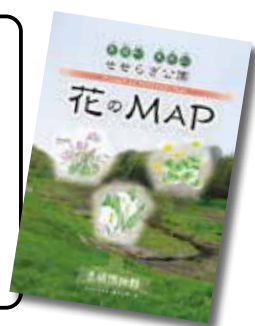
博物館講座（歴史編）「戦中の美幌の歴史発掘」

● 4/24（土）10:00-11:45 ●美幌町民会館 1F 小ホール ●無料、マスク ●瀬戸川雄一氏（美幌地下壕の歴史を考える会・HTB 総合制作部ディレクター）、八重柏誠（美幌博物館）●美幌博物館へ電話申込み（4/1-23）。小学生以下は保護者の同伴が必要、定員 50 名で締切、定員に達しない場合は当日参加も可能です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により、一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

「せせらぎ公園 花の MAP」が新しくなりました！

せせらぎ公園の花を絵や写真で紹介している「花の MAP」。ご好評とご要望にお答えして、花の種類を 10 種類増やして新しく生まれ変わりました。
美幌博物館 1F ロビーで配布しています。



今月の休館日

● ●
5 日、12 日
19 日、26 日
30 日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用、持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

ひと足早い 春を探しに

写真・文／城坂結実



春の花というと、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか。黄色に輝くフクジュソウ、赤や黄色のチューリップ、青色のエゾエンゴサクなど、北海道の春を彩る花には枚挙にいとまがありません。

実は、それらの花に比べていち早く花を咲かせる樹木があります。ヤナギの仲間のキヌヤナギ（写真）です。花といっても花びらをもたないので、ピンとこない方もいらっしゃるかもしれません。

ヤナギの仲間は、雄花をつける雄の木と、雌花をつける雌の木に分かれており、春になるとそれぞれ雄しべと雌しべを成熟させます。ふわふわした灰色の芽のように見えるのは、雄花や雌花の集まりで、春になり雄しべや雌しべが成熟すると、黄色っぽく見えます。雄しべは特に黄色味が強いので、遠くからでもはっきりとわかります。

このように、ヤナギの仲間が目立った花びらを持たないのは、風で受粉をする風媒花だからと思われがちですが、実は、ヤナギの仲間は昆虫を寄せるための花蜜を出します。雄しべが黄色くなるころ、キヌヤナギの花には、冬眠から目を覚ましたばかりのマルハナバチの仲間が訪れているのをよく目にします。

美幌町の大正橋付近には、たくさんのキヌヤナギがあります。このグリーンレターが届く頃には、花が咲いているかも！？いち早く春を探しに、お出かけになってはいかがでしょうか。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

特別展！ 見所紹介！

写真・文／八重柏誠



3月27日より始まる特別展「びほろのアケボノ～旧石器時代の遺跡～」。私たち人類の歴史区分でもっとも古い段階である旧石器時代にスポットライトを当てて、美幌町にもたくさん旧石器時代の遺跡があることや、発掘調査について学ぶことができる展示会の見所について紹介します。

今回は展示室を4つのブースに分けて展示しています。1つ目のブースでは、美幌町の発掘史や旧石器時代の石器について、簡単に解説をしています。ここで基礎知識を身につけて、展示を楽しんでいきましょう。

2つ目のブースでは、発掘調査の方法や調査道具などについて紹介しています。発掘現場を再現した巨大なジオラマが目をはくこと間違いなし。発掘作業員の細かな作業に触れることができるでしょう。

3つ目のブースでは、美幌町出土の

石器を一挙に公開しています。元町2～4遺跡、みどり1遺跡、みどり3遺跡、豊岡7遺跡の、厳選された石器を展示しています。展示ブースの中心には、旧石器時代の狩りの様子を再現した模型が設置されています。今回の展示の象徴のような模型です。

4つ目のブースでは、発掘調査の成果の一部を紹介しています。中でも遠軽町からお借りした石器の接合資料が目をはきます。人頭大の黒曜石を打ち割って、数十枚の石刃を剥ぎ取っていく過程がよくわかるお宝資料です。

最後に3mを超えるマンモスゾウのイラストが皆様をお見送りしています。マンモスゾウと記念撮影をしてみたいはいかがでしょうか？展示会は10月24日まで開催しています。ふるってご観覧いただけましたら幸いです。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



次女がいよいよ小学校に入学します。5年間続いた幼稚園へ朝のお見送りも終わりを迎えることができました。私自身も幼稚園卒業なのだなと思う今日この頃です。(八重柏)